

2013.03.21

「麻生財務大臣に期待！財金委員会の質問を終えて」

こんにちは、参議院議員の西田昌司です。本日は3月21日、木曜日です。

今日は参議院の財政金融委員会があり、私は麻生財務大臣に対して所信表明演説についての質問をしました。安倍内閣において麻生財務大臣は「平成の高橋是清」と期待され、デフレ脱却の牽引役としての手腕を期待されております。委員会では、デフレ脱却を掲げてアベノミクスの3本の矢が打ち出されましたが、デフレ脱却をするために日本がデフレによって長期間低迷してきた原因を把握しなければならない、ということをお伺いしました。これに対し、麻生財務大臣は以下のように私の質問に率直にお答えになりました。

麻生内閣の当時はリーマンショック以降、デフレ対策として、時期を捉えた的確な景気対策、金融緩和を行いました。また、小泉内閣のもとでは総務大臣を務められ、当時もデフレ脱却のために公共事業投資も含めた今のアベノミクスの3本の矢のようなものが必要なのだ、と麻生大臣は内閣で主張しました。けれども、当時は竹中平蔵氏によって小泉内閣が仕切られていたため、主張が退けられた、という苦い経験をお話なされました。

私にとっては、まさに我が意を得たり、との思いでした。もし、あの当時早い段階でアベノミクスが実現されていれば、今日程のデフレになることはありませんでした。それに対し、現安倍内閣では麻生財務大臣がいらっしゃいます

ので、非常に大きな信頼を置いています。

一年前の民主党政権下でも金融緩和だけでなく、積極財政政策を推し進めてデフレ脱却をしなければならない、という主張をして参りました。そして、牛馬論争という話を致しましたが、金融緩和をして馬を水辺に連れて行くことはできるが、馬に水を飲ませることはできない。飲ませるためには、もう一頭牛を連れてきて水を飲む姿を見せることが大事だということを申し上げてきました。まさに、金融と財政が一体となった政策が必要であると主張したのです。しかし、民主党政権下ではまったく聞き入れられませんでした。安住前財務大臣も私の質問によって問題意識をお持ちになられたようですが、結局積極財政は実現されませんでした。その理由は、財務省の役人が「このまま放っておけば財政破綻してしまう」というコントロールをしきりにしていたのではないかと思います。

ところが、今も財務省に同じ役人はいるのですが、政治主導によって変わりました。麻生財務大臣、安倍総理の指令により、積極財政、アベノミクスを掲げ、一挙に政策の方向性が転換されました。以前より公債残高は増えていますが、積極財政、次元の違う金融緩和を行うという政治の責任の持った発信を受けて、株高になり、円高が修正されつつあります。政治主導の民主党と言われてきたけれども、実はリーダーシップは何も発揮しておらず、反対に安倍内閣が政治主導をしているのです。アベノミクスと言われておりますが、アソウノ

ミクスと言っても過言ではないと思います。元々は麻生内閣の下でリーマンショック以降の経済を立ち直すために、麻生元総理が行った政策の延長上に現安倍内閣の経済政策があると解釈をした方がいいのです。

今回、もう一つ重要な質問を致しました。TPP についてです。私は依然として TPP には懸念を示しております。TPP 交渉参加表明がなされましたが、実際の条件作りはこれからです。一番大事なことは、TPP によって経済の国際化が行われるので大企業にとってプラス面はたくさんあるけれども、実際に国民にとってプラスであるのかどうか、ということです。国内で雇用が確保され、給与が上がるのが大事であり、これなしでは経済成長できないのだということを指摘しました。これに対して麻生財務大臣も全く同じ問題意識を持って答えて頂きました。つまり、韓国が米韓 FTA で TPP に先行し、グローバル企業のサムスンが日本のメーカーよりも勝ち組であるような評価をされる方がいらっしゃるが、実際にはそうではないことを説明されました。韓国経済は、企業は大きくなっているけれども、その株主の 7 割 5 分は外国人が占め、利益は全て海外に取られてしまって韓国には利益が配分されていない、という問題を麻生財務大臣がおっしゃっていました。どのようにして日本の中で雇用を守っていくか、という視点がないとダメなのだ、ということをご答弁頂きました。TPP はこれから条件交渉を見守らなければなりません、麻生財務大臣のような安倍内閣を正しい方向にコントロールできる方に期待をしております。

今週は久々に委員会において質問をしましたが、先週はTPPの問題もあり、インフルエンザに罹患して朦朧とした中で国会や党内において議論をしなければならず非常に大変でしたが、今週から仕切り直してしっかりと議論したいと思います。

今週もご覧になっていただきありがとうございました。